



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 高砂香料工業株式会社

コード番号 4914

URL <https://www.takasago.com/>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）榎村 聡

問合せ先責任者（役職名）執行役員管理本部長

（氏名）平田 裕康（TEL）03-5744-0523

半期報告書提出予定日 2024年11月8日

配当支払開始予定日 2024年12月5日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	113,585	15.2	8,004	422.3	6,895	107.2	4,898	129.8
2024年3月期中間期	98,572	3.5	1,532	△68.0	3,328	△53.4	2,132	△60.8

（注）包括利益 2025年3月期中間期 12,680百万円（26.4%） 2024年3月期中間期 10,031百万円（△23.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2025年3月期中間期	円 銭 251.50	円 銭 —
2024年3月期中間期	109.55	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期中間期	百万円 243,908	百万円 142,830	% 57.7
2024年3月期	228,427	130,880	56.5

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 140,669百万円 2024年3月期 129,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 70.00
2025年3月期	—	80.00			
2025年3月期（予想）			—	80.00	160.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日（2024年11月8日）公表の「業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	12.3	10,000	331.8	11,000	133.7	8,000	196.5	410.71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2025年3月期中間期	20,152,397株	2024年3月期	20,152,397株
2025年3月期中間期	660,969株	2024年3月期	678,736株
2025年3月期中間期	19,478,694株	2024年3月期中間期	19,460,899株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社では、2024年11月20日 (水) に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を会場とライブ配信のハイブリッド方式にて開催を予定しております。この説明会で配布する決算説明資料については、同日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、一部に弱めの動きもみられるものの、緩やかに回復しました。

海外経済につきましては、米州、欧州は底堅く推移したものの中国の景気低迷が継続するなど、総じて緩やかな成長に留まりました。今後のわが国経済の見通しにつきましては、引き続き緩やかな成長が続くと見られますが、長期化するウクライナ侵攻、中東情勢等の地政学リスク、米国大統領選後の動向等を背景として、海外の経済・物価動向、資源価格の動向など不確実性は引き続き高い状況であり、為替市場の動向や経済への影響についても十分注視する必要があります。

香料業界においても、世界経済の動向に合わせる形で、全体として堅調に推移しました。競合他社との競争環境は厳しい状況が続いておりますが、市場としては、中国や東南アジアでの成長が引き続き期待できる一方、成熟市場である欧米でも底堅い成長が見込まれます。

このような中、当社グループは「人にやさしく、環境にやさしく」をスローガンとする『Vision 2040』のもと、新中期経営計画『New Global Plan-2【NGP-2】』（2024-2026年度）を推進してまいります。

当中間連結会計期間の売上高は、113,585百万円（前中間連結会計期間比15.2%増）となりました。部門別売上高では、フレーバー部門は、米国子会社において飲料向け等が堅調に推移したことで、60,654百万円（前中間連結会計期間比7.6%増）、フレグランス部門は、米国子会社において出荷調整の状況が改善し、36,442百万円（前中間連結会計期間比24.5%増）、アロマイングリディエント部門は、スペシャリティ品、コモディティ品ともに好調に推移し、8,035百万円（前中間連結会計期間比30.6%増）、ファインケミカル部門は、医薬品中間体等が好調に推移し、7,747百万円（前中間連結会計期間比28.2%増）となりました。その他不動産部門は、706百万円（前中間連結会計期間比0.3%増）となりました。当社グループは、海外の売上比率が高く、為替が円安となったことも増収に寄与しております。

利益面では、営業利益は8,004百万円（前中間連結会計期間比422.3%増）、経常利益は6,895百万円（前中間連結会計期間比107.2%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は4,898百万円（前中間連結会計期間比129.8%増）となりました。

セグメントにつきましては、日本は、ファインケミカル部門において米国子会社を経由して販売している医薬品中間体が好調に推移し、セグメント間の内部売上高が伸長しましたが、日本国内の顧客への売上高が低調に推移したことにより、売上高は37,159百万円（前中間連結会計期間比1.6%減）となりました。営業利益はアロマイングリディエント部門での製品構成の最適化やファインケミカル部門でのセグメント間の内部売上高増加を主因として利益率が改善し、3,984百万円（前中間連結会計期間比586.8%増）となりました。米州は、前期末に米国子会社で新基幹システム導入に伴い発生した出荷調整の状況が改善したほか、製品構成・販売価格・原材料購入価格の最適化を通じて売上総利益が改善したことにより、売上高は33,554百万円（前中間連結会計期間比32.9%増）、営業利益は1,878百万円（前中間連結会計期間比819.8%増）となりました。欧州は、フランス子会社及びドイツ子会社等が好調に推移し、売上高は19,634百万円（前中間連結会計期間比26.0%増）となり、営業利益は製品構成・販売価格・原材料購入価格の最適化を通じて売上総利益が改善したことにより、1,263百万円（前中間連結会計期間は営業損失692百万円）となりました。アジアは、インドネシア子会社及び中国子会社が好調に推移したことにより、売上高は23,238百万円（前中間連結会計期間比16.3%増）、営業利益は1,884百万円（前中間連結会計期間比44.2%増）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末と比較して15,481百万円増加し、243,908百万円となりました。主なものは、受取手形及び売掛金の増加12,296百万円、原材料及び貯蔵品の増加1,991百万円であります。

負債は、前連結会計年度末と比較して3,531百万円増加し、101,078百万円となりました。主なものは、支払手形及び買掛金の増加2,845百万円、長期借入金の増加1,673百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して11,950百万円増加し、142,830百万円となりました。主なものは、為替換算調整勘定の増加7,458百万円、利益剰余金の増加4,217百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月15日に公表しました2025年3月期の連結業績予想を本資料において修正しております。詳細につきましては、本日別途公表の「業績予想の修正、剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,333	11,172
受取手形及び売掛金	45,568	57,865
電子記録債権	2,784	2,450
商品及び製品	30,964	31,966
仕掛品	298	284
原材料及び貯蔵品	24,193	26,185
その他	4,102	5,361
貸倒引当金	△207	△185
流動資産合計	126,038	135,100
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,638	32,481
その他(純額)	33,444	38,837
有形固定資産合計	65,083	71,318
無形固定資産		
無形固定資産	4,710	4,605
投資その他の資産		
投資有価証券	24,433	24,632
その他	8,631	8,760
貸倒引当金	△469	△508
投資その他の資産合計	32,595	32,884
固定資産合計	102,388	108,808
資産合計	228,427	243,908

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,935	21,781
短期借入金	23,944	23,752
1年内返済予定の長期借入金	9,464	7,128
未払法人税等	815	1,991
賞与引当金	2,095	2,182
役員賞与引当金	42	23
その他	13,769	13,569
流動負債合計	69,068	70,429
固定負債		
長期借入金	13,327	15,001
役員退職慰労引当金	21	18
訴訟損失引当金	156	311
退職給付に係る負債	9,606	9,837
その他	5,367	5,480
固定負債合計	28,479	30,648
負債合計	97,547	101,078
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,248	9,248
資本剰余金	8,389	8,412
利益剰余金	89,919	94,137
自己株式	△1,652	△1,608
株主資本合計	105,906	110,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,139	11,027
繰延ヘッジ損益	4	△7
為替換算調整勘定	10,920	18,378
退職給付に係る調整累計額	1,083	1,080
その他の包括利益累計額合計	23,148	30,479
非支配株主持分	1,825	2,161
純資産合計	130,880	142,830
負債純資産合計	228,427	243,908

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	98,572	113,585
売上原価	70,684	74,467
売上総利益	27,887	39,118
販売費及び一般管理費	26,355	31,113
営業利益	1,532	8,004
営業外収益		
受取利息	53	66
受取配当金	227	304
持分法による投資利益	—	168
為替差益	1,711	—
その他	216	230
営業外収益合計	2,209	769
営業外費用		
支払利息	232	361
持分法による投資損失	134	—
為替差損	—	1,464
その他	47	52
営業外費用合計	413	1,878
経常利益	3,328	6,895
特別利益		
固定資産売却益	2	10
投資有価証券売却益	306	221
特別利益合計	308	232
特別損失		
固定資産処分損	18	29
投資有価証券評価損	11	1
訴訟損失引当金繰入額	—	134
特別損失合計	29	164
税金等調整前中間純利益	3,607	6,963
法人税、住民税及び事業税	794	1,939
法人税等調整額	595	△130
法人税等合計	1,390	1,808
中間純利益	2,217	5,154
非支配株主に帰属する中間純利益	85	255
親会社株主に帰属する中間純利益	2,132	4,898

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	2,217	5,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,400	△111
繰延ヘッジ損益	△0	△12
為替換算調整勘定	6,203	7,347
退職給付に係る調整額	38	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	171	304
その他の包括利益合計	7,813	7,525
中間包括利益	10,031	12,680
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	9,864	12,229
非支配株主に係る中間包括利益	167	450

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる中間連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高							
香料事業 (注)3	37,055	25,253	15,584	19,974	97,868	—	97,868
顧客との契約から生じる収益	37,055	25,253	15,584	19,974	97,868	—	97,868
その他の収益 (注)4	703	—	—	—	703	—	703
外部顧客への売上高	37,759	25,253	15,584	19,974	98,572	—	98,572
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,955	182	1,702	162	9,002	△9,002	—
計	44,715	25,435	17,287	20,136	107,575	△9,002	98,572
セグメント利益又は損失(△)	580	204	△692	1,306	1,398	134	1,532

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額134百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額217百万円、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額85百万円、その他△169百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 香料事業はフレーバー、フレグランス、アロマイングリディエント、ファインケミカルの製造・販売を主な事業内容としており、当該事業の売上高は主に一時点で顧客に移転される財から生じる収益で構成されております。

4. その他の収益は、その他不動産事業に係る賃貸収入等で構成されております。

II 当中間連結会計期間(自2024年4月1日至2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高							
香料事業 (注)3	36,453	33,554	19,634	23,238	112,879	—	112,879
顧客との契約から生じる収益	36,453	33,554	19,634	23,238	112,879	—	112,879
その他の収益 (注)4	706	—	—	—	706	—	706
外部顧客への売上高	37,159	33,554	19,634	23,238	113,585	—	113,585
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,418	291	2,161	194	16,066	△16,066	—
計	50,577	33,845	21,796	23,432	129,652	△16,066	113,585
セグメント利益	3,984	1,878	1,263	1,884	9,010	△1,006	8,004

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,006百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額267百万円、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額△1,064百万円、その他△209百万円であります。
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 香料事業はフレーバー、フレグランス、アロマイングリディエント、ファインケミカルの製造・販売を主な事業内容としており、当該事業の売上高は主に一時点で顧客に移転される財から生じる収益で構成されております。
4. その他の収益は、その他不動産事業に係る賃貸収入等で構成されております。